

平成30年11月12日

平成31年3月期 第2四半期（中間）決算のお知らせ

**【単体】預金・貸出金ともに中間期末残高は過去最高
中間純利益 22億57百万円**

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、11月12日（月）、平成31年3月期（平成30年度）の中間決算を発表いたしました。

1 預金・貸出金（単体）

預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金および法人預金の増加により、前年同期末比470億円増加し2兆7,024億円となりました。貸出金は、住宅ローンを中心とした個人ローンや事業先向け貸出金の増加により、257億円増加し1兆6,907億円となりました。預金・貸出金ともに中間期末残高は過去最高となりました。

2 損益（単体）

経常収益は、国債等債券売却益の減少により、前年同期比31億21百万円減収の181億64百万円となりました。

本業での利益を示すコア業務純益は、資金利益の減少により2億85百万円減益の30億98百万円となりました。経常利益は、国債等債券損益は好転したものの、コア業務純益の減少により2億21百万円減益の30億21百万円となりました。中間純利益は5億17百万円減益の22億57百万円となりました。

3 不良債権比率（単体）、自己資本比率（国内基準、単体）

金融再生法開示債権は前期末（30/3期末）に比べて2億円増加し330億円となりましたが、不良債権比率は0.01ポイント低下し1.93%となりました。

自己資本比率は、貸出金の増加によりリスク・アセットは増加したものの、利益の積上げにより自己資本も増加したことから、前期末（30/3期末）に比べて0.10ポイント上昇し10.85%になりました。

4 中間配当

普通配当として、当初予想どおり1株当たり35円とさせていただきます。

期末配当も35円を予定しておりますので、年間配当は70円となる予定であります。